

学長選考・監察会議議事録
(令和4年度 第7回)

令和5年1月23日(月)
15時15分から16時15分まで
法人本部3階「第一会議室」

【出席者】

経営協議会選出委員

相澤 益男 伊藤真知子 小林 裕明 里村 正治 鈴木 道子
西海 和久 長谷川真理子

教育研究評議会選出委員

是川 晴彦 中西 正樹 並河 英紀 上野 義之 佐藤 慎哉
黒田 充紀 村山 秀樹

【陪席者】 渡辺監事 大森監事 羽鳥副学長

議事に先立ち、羽鳥副学長から、本日の会議が規程第5条第2項に定める会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

I 学長の業務執行状況に係る中間評価について

(1) 中間評価書(案)について

相澤議長から、本日は、「学長の業務執行状況の中間評価に係る実施計画」(令和4年10月19日学長選考・監察会議決定)に基づき、「中間評価書(案)」を審議する旨説明があった。

次いで、相澤議長から、資料1及び資料2に基づき、各委員から提出いただいたすべての個別評価及び総評が記載され、加えて議長としてのコメントを追記してあること、本日議論した上で全体評価を4段階でランク付けすることなど説明があった後、種々意見交換が行われ、相澤議長から諮られた結果、以下のことが確認された。

- ・全体評価については、議長名で「期待する程度を上回った」と記載し、総括するとともに、各委員の総合評価分布も参考資料とする。
- ・個別評価及び総評については、議長のコメント及び各委員から提出いただいたすべてのコメントを掲載する。
- ・次回学長選考・監察会議において、中間評価書を学長に手交し、学長から中間評価に対して発言いただく機会を設けることとする。
- ・中間評価について、山形大学ホームページにおいて公表を行うとともに、記者会見を実施することについて検討する。

委員からの質問・意見等の要点は、以下のとおり。

- ・学長の間接報告で触れられていない内容に対しても、中間評価が行われている。学長から発表いただいた中間報告の内容に対して、中間評価を行うのではなかったか。（里村委員）
- ・議長意見と各委員個別の意見とを分けて掲載した方が良いのではないか。（鈴木委員）
- ・中間評価の時点で統合報告書を作成したことは、高く評価できる。（相澤議長）
- ・各委員評価の多数である「期待する程度を上回った」を全体評価とするのではなく、議長評価として「期待する程度を上回った」とし、各委員の評価点分布を併せて示してはどうか。（里村委員）
- ・個別評価及び総評について、議長評価を一番上に記載した上で、引き続き、各委員の評価も掲載してはどうか。（西海委員）
- ・中間評価として、各委員が今後学長に期待することを、そのまま学長に伝えていただくことが重要ではないか。（小林委員）
- ・各委員が時間をかけて作成した中間評価を学長にそのままご覧いただいた方が良く思う。（長谷川委員）
- ・参考資料として全体評価の分布も掲載した方が良く思う。（鈴木委員ほか）
- ・評価基準が統一されていないため、各委員の評価を集約することは困難であり、各委員の評価分布をそのまま学長に見せることに意味があると思う。（並河委員）
- ・学長選考・監察会議において中間評価書に対する学長の感想を伺う機会があるとよいのではないか。（里村委員）
- ・前回同様、山形大学のホームページにおいて公表するとともに、記者会見を実施することを検討してはどうか。（西海委員）